



コトバ ノ チカラ！！

誰に伝える？何を伝える？どんな言葉で？
想いを伝えるコトバノチカラ。自分を表すコトバノチカラ。今日から使えるあなただけの言葉を見つけてみませんか。

言葉を学ぶ

小池直己・佐藤誠司／著
『ポジティブになれる
英語名言 101』
(岩波書店)

飯間浩明／文、金井真紀／絵
『日本語をつかまえろ!』
(毎日新聞出版)

今野真二／著
『学校では教えてくれない
ゆかいな日本語』
(河出書房新社)

国語辞典の編集者である著者が、令和の時代の日本語を徹底解説。絶対に興味を惹かれるページがあるはず。

「イライラする」の「イラ」って何のこと？日本語を色々な角度から解体した一冊。学校では習わない日本語のヒミツ。

山口謠司／著
『文豪の凄い語彙力』
(さくら舎)

言いたいこと、伝えたいことをぴったりの言葉で表すために、言葉を探し、選んできた文豪たちの語彙力。圧巻です。

NHK アナウンス室／編
『NHK 気になることば
調べてナットク意外な発見!』
(東京書籍)

NHK アナウンサーが、ことばをとことん突き詰めた一冊。身近な気になることばに迫る。いつものことばの知らなかった意外な意味が分かるかも？

古きよき言葉

田中章義／[編]著
『十代に贈りたい
心の名短歌 100』
(PHP 研究所)

著者が高校時代に出逢ったように、あなたもステキな短歌に出逢ってみませんか。

柳亭左龍／著
『使ってみたいイキで
イナセな江戸ことば』
(小学館)

「てやんでい」
「あたぼうよ」
「まっぴらごめんねい」
読んでください。

足立幸代／[編]著
『気ままに漢詩キブン』
(筑摩書房)

難しい漢詩を気軽に分かりやすく。遥か昔の中国の詩を、かわいいイラストとともに、身近に感じよう。

言葉の物語

文月悠光／著
『適切な世界の
適切ならざる私』
(思潮社)

著者が14歳から17歳の間に書いた24の詩。多感な時期に、詩と自身と向き合った著者の、みずみずしくもひりひりする言葉の一冊。

内海慶一／著
『ピクトさんの本』
(ビー・エヌ・エヌ新社)

東京五輪でも話題になったピクトグラム。非常口を示す緑の人型や注意を促す立て看板に描かれた人型。“ピクトさん”は誰もが絶対に見たことがあるはず。街で見かけるピクトさんを、海外のものも含めて、様々な視点から集めてまとめた一冊。

森埜こみち／作
山田和明／絵
『わたしの空と
五・七・五』
(講談社)

河出書房新社／編
『わたしの外国語漂流記』
(河出書房新社)

佐藤多佳子／著
『しゃべれどもしゃべれども』
(新潮社刊)

英語から、聞いたことのない珍しい言語まで…世界中で活躍する日本人の外国語を学ぶエピソードを集めた本。その言語を学んだきっかけや、学習方法など、読んだら色々な発見があると思います。

三度の飯より落語が好きな噺家の古今亭三つ葉を含むの、言葉を通じた心の交流の物語。

言葉の道しるべ

『夢をつかむイチロー262のメッセージ』
編集委員会／著
『夢をつかむイチロー
262のメッセージ』
(ぴあ)

メジャーリーグ時代にイチロー氏が紡ぎ出した言葉と思考をぎゅっと詰めこんだ一冊。どのページを開いても、ぐっと背中を押してくれるはず。

河出書房新社／編
『101人が選ぶ
「とっておきの言葉」』
(河出書房新社)

山田悠介さん、小芝風花さん、稀勢の里さん、林家たい平さんなど、多くの方々が選んだ「とっておきの言葉」。選んだ理由や考え方に、新たな発見や共感ができる一冊です。

中村邦生／著
『いま、きみを
励ますことば』
(岩波書店)



図書館では、本の貸出はもちろん、調べもののお手伝いもしています。インターネットの検索だけではわからないことも、実はまだまだあるのです。調べたいことがあったら、まずは図書館の人に聞いてみよう！



Twitterを
やっているよ！

